

第2回
みやぎ活性化フォーラム
— 論点整理 —

平成30年12月12日
一般財団法人 みやぎん経済研究所
主任研究員 杉山 智行

1. 地域活性化とは～地域活性化の整理

地域活性化とは、地域社会の新たな目標を示すものであると同時に、地域発展の重要な手段の1つ。

地域活性化が必要とされる背景には、地域社会と経済の停滞・衰退が実感されていることにある。その上で、人々の暮らしが上向き、地域社会の維持発展を目指すことが求められている。

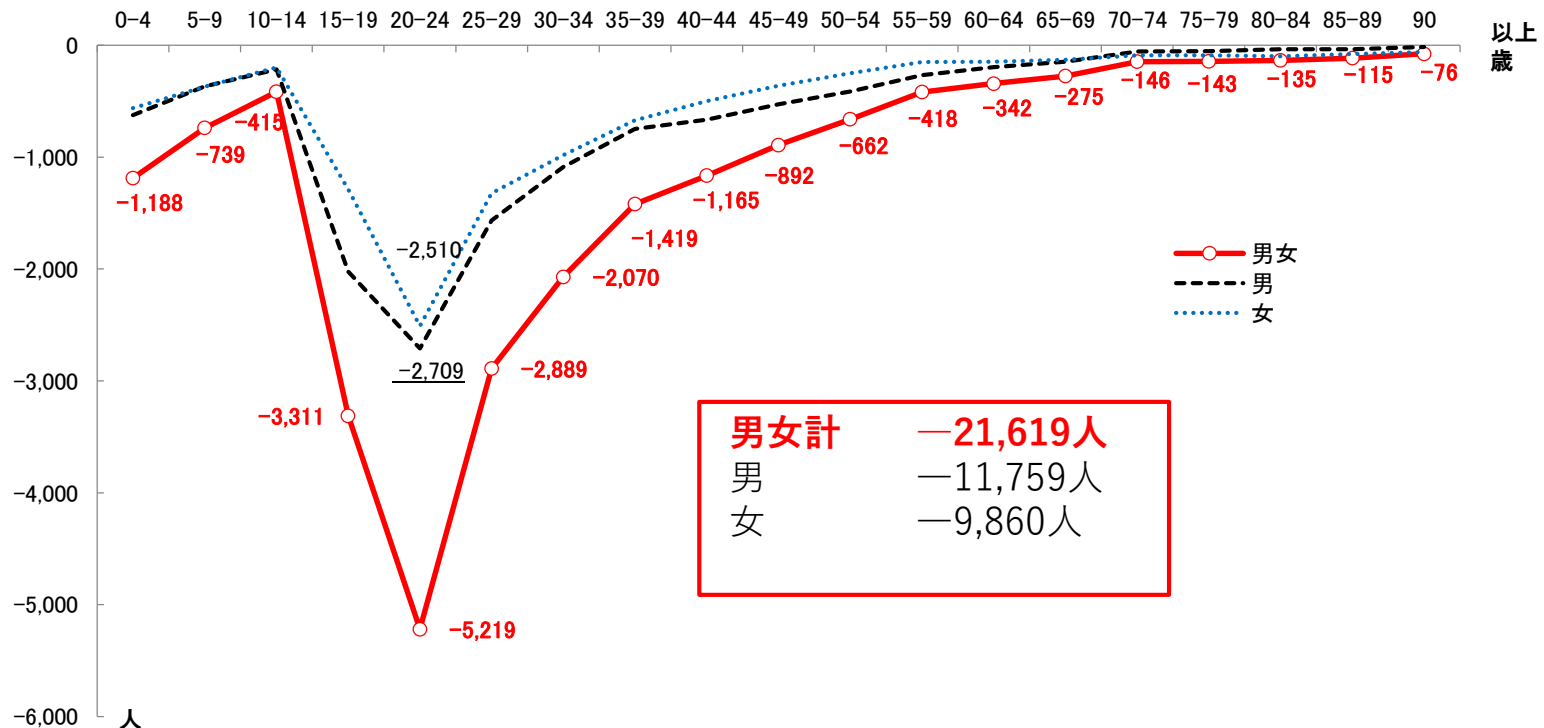
【地域活性化に向けた方向性】

- ①経済活動の活発化
- ②地域組織、コミュニティ活動の活発化
- ③人のうごきの活発化（往来を人が行き来する）
- ④地域が活性化を実感できる取組み、活性化の質の向上（トータルイメージとしての活性化）

2. 人口減少、若者の流出

- 人口減少、特に若者の流出を食い止めるには、魅力あるまちづくりと雇用(産業)の創出が必要。そのための課題は何か考える必要がある。

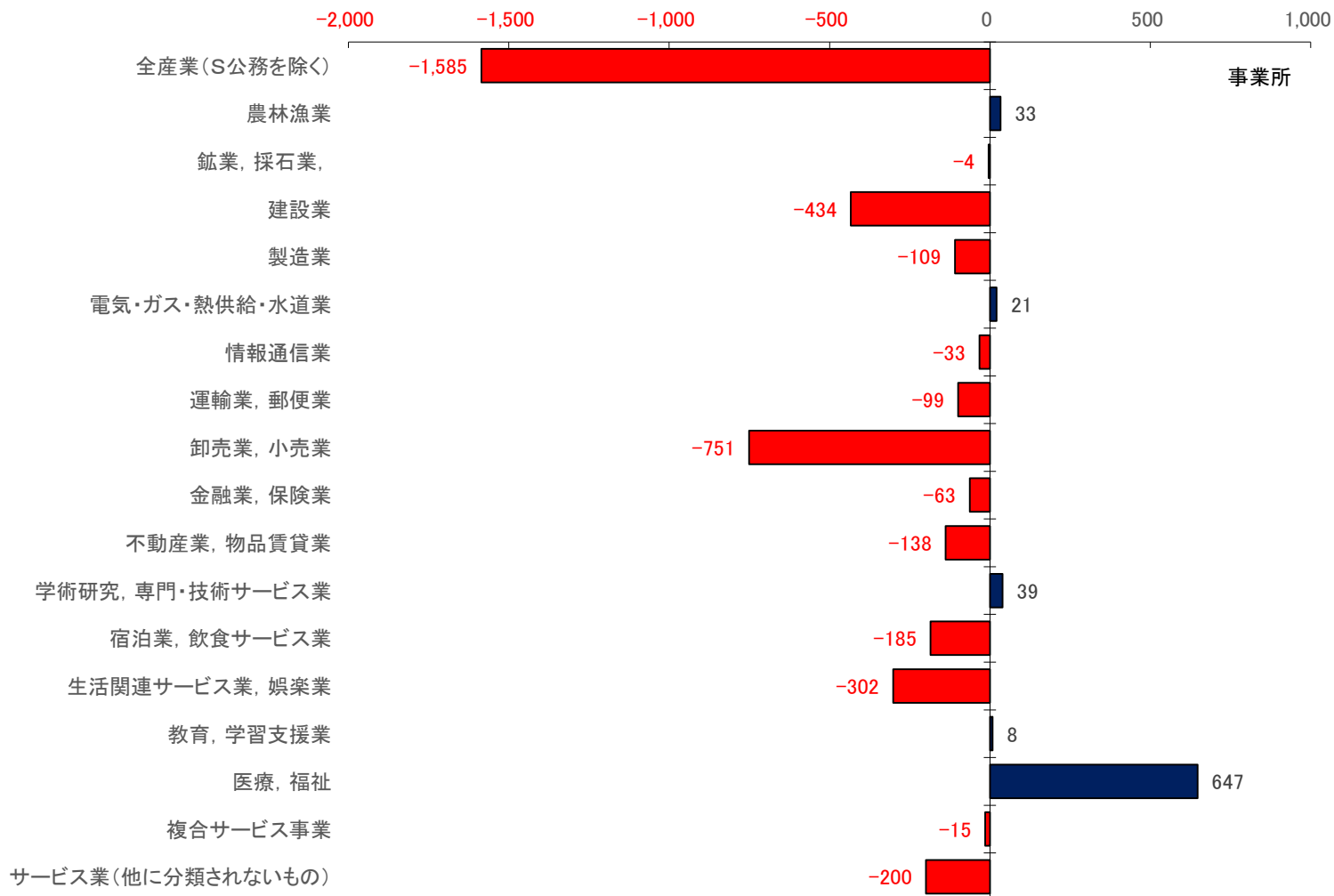
図1. 本県の5歳階級別 県外転出者数 (2017年度)



資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

3. 2012年、16産業別事業所数の増減

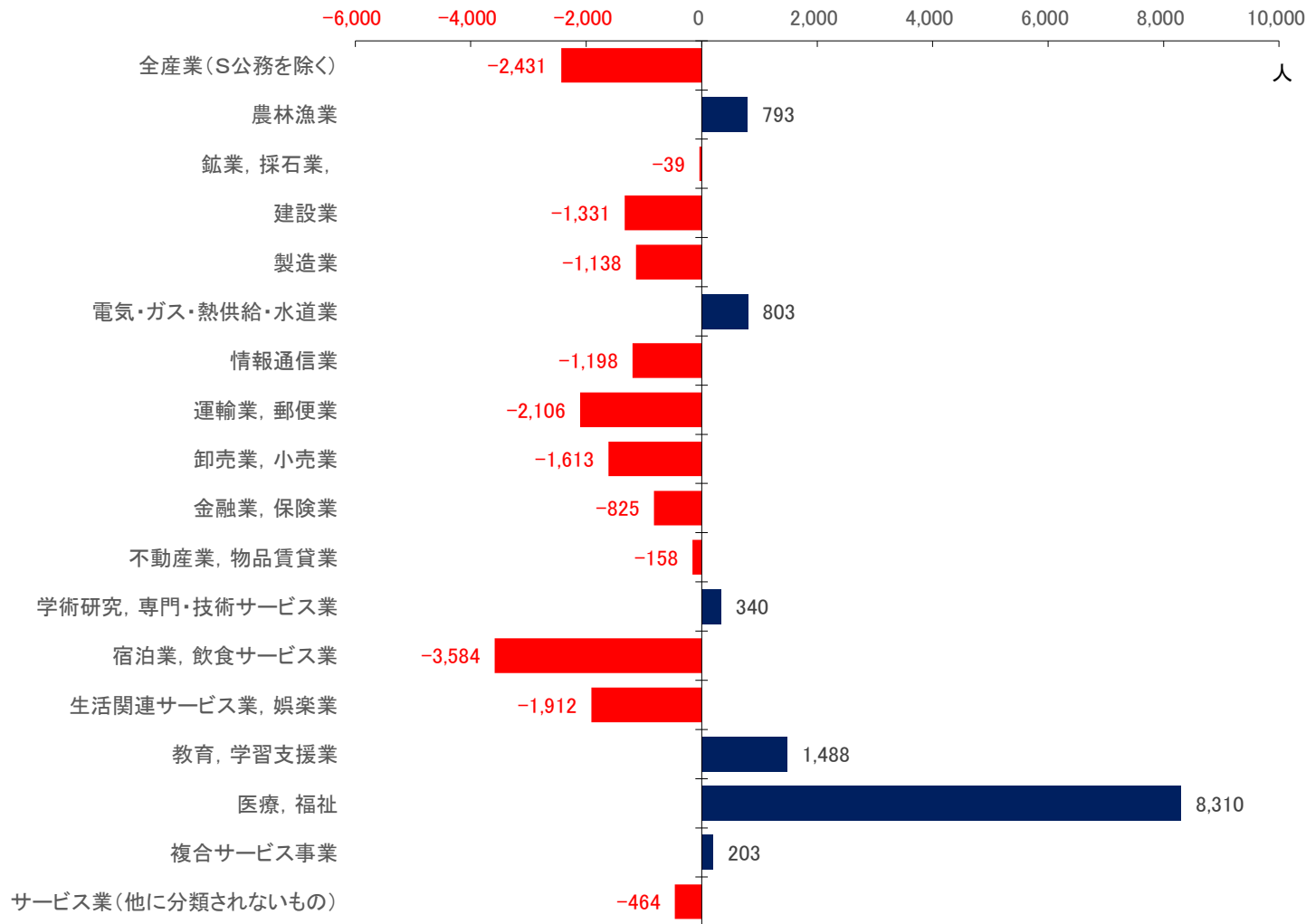
図2. 本県の2012年、16産業別事業所数の増減



資料) 総務省「経済センサス活動調査」をもとに作成

4. 2012年、16産業別従業者数の増減

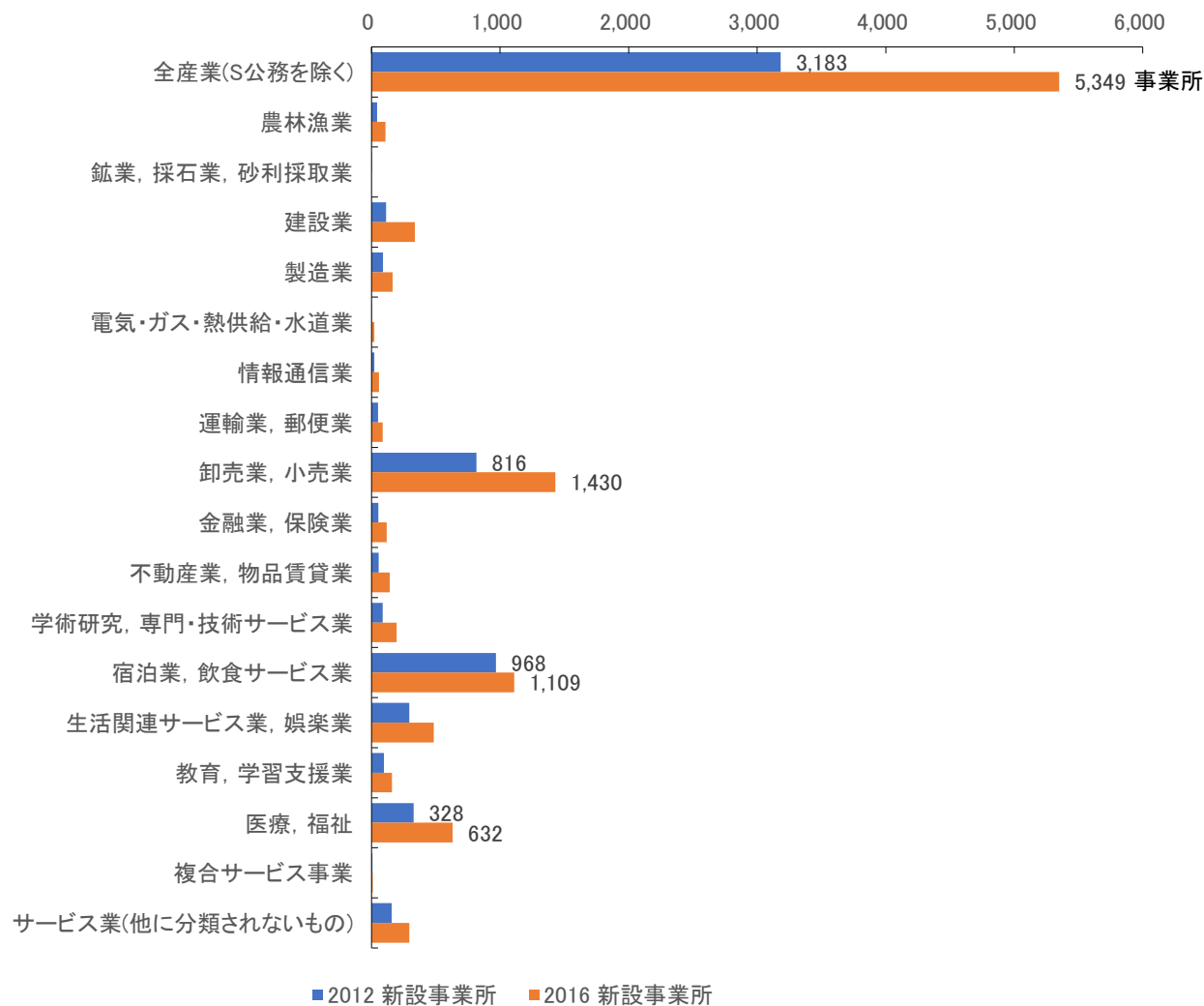
図3. 本県の2012年、16産業別従業者数の増減



資料) 総務省「経済センサス活動調査」をもとに作成

5. 2012年、16産業別新規事業所数

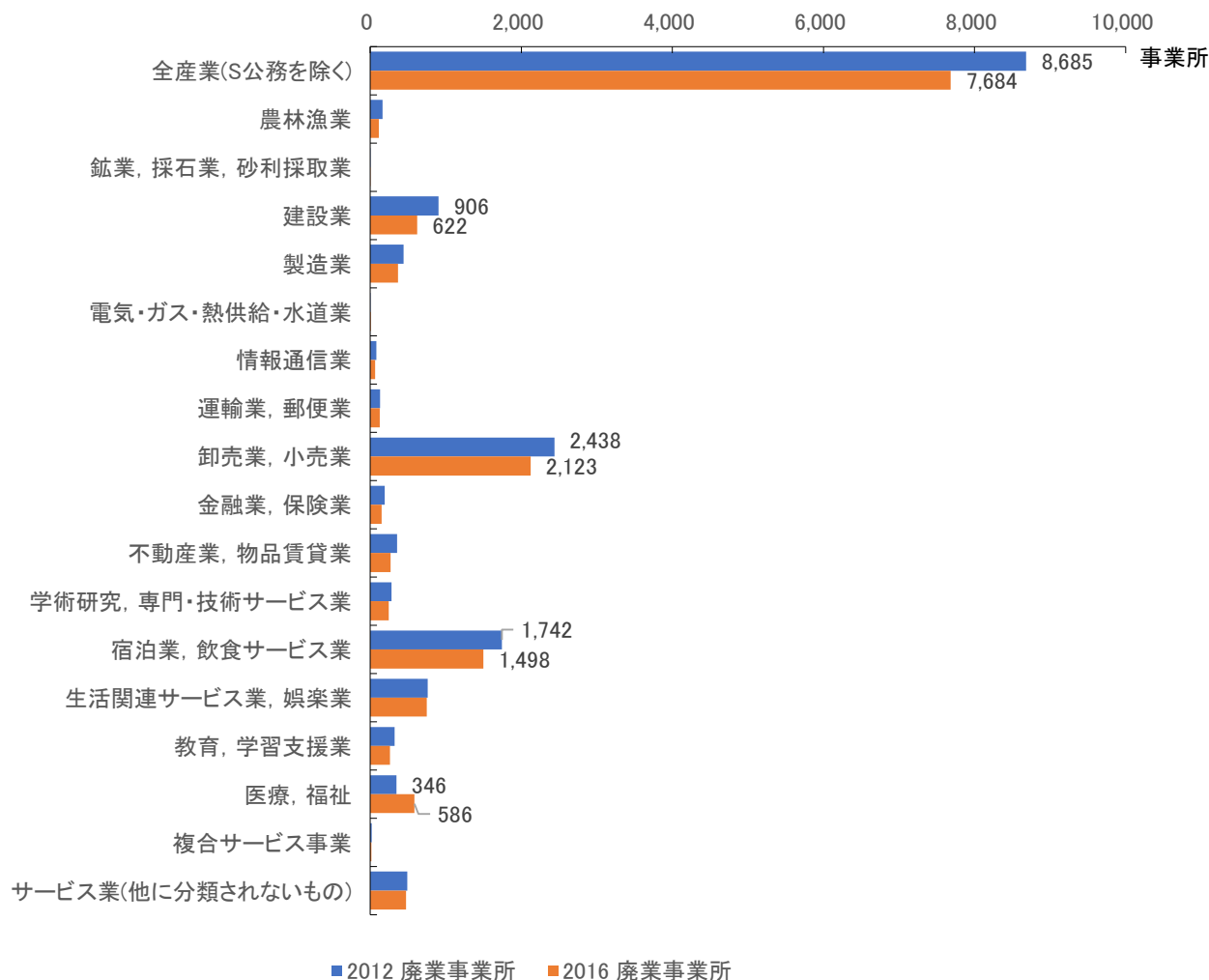
図4. 本県の2012年、16産業別新規事業所数



資料) 総務省「経済センサス活動調査」をもとに作成

6. 2012年、16産業別廃業事業所数

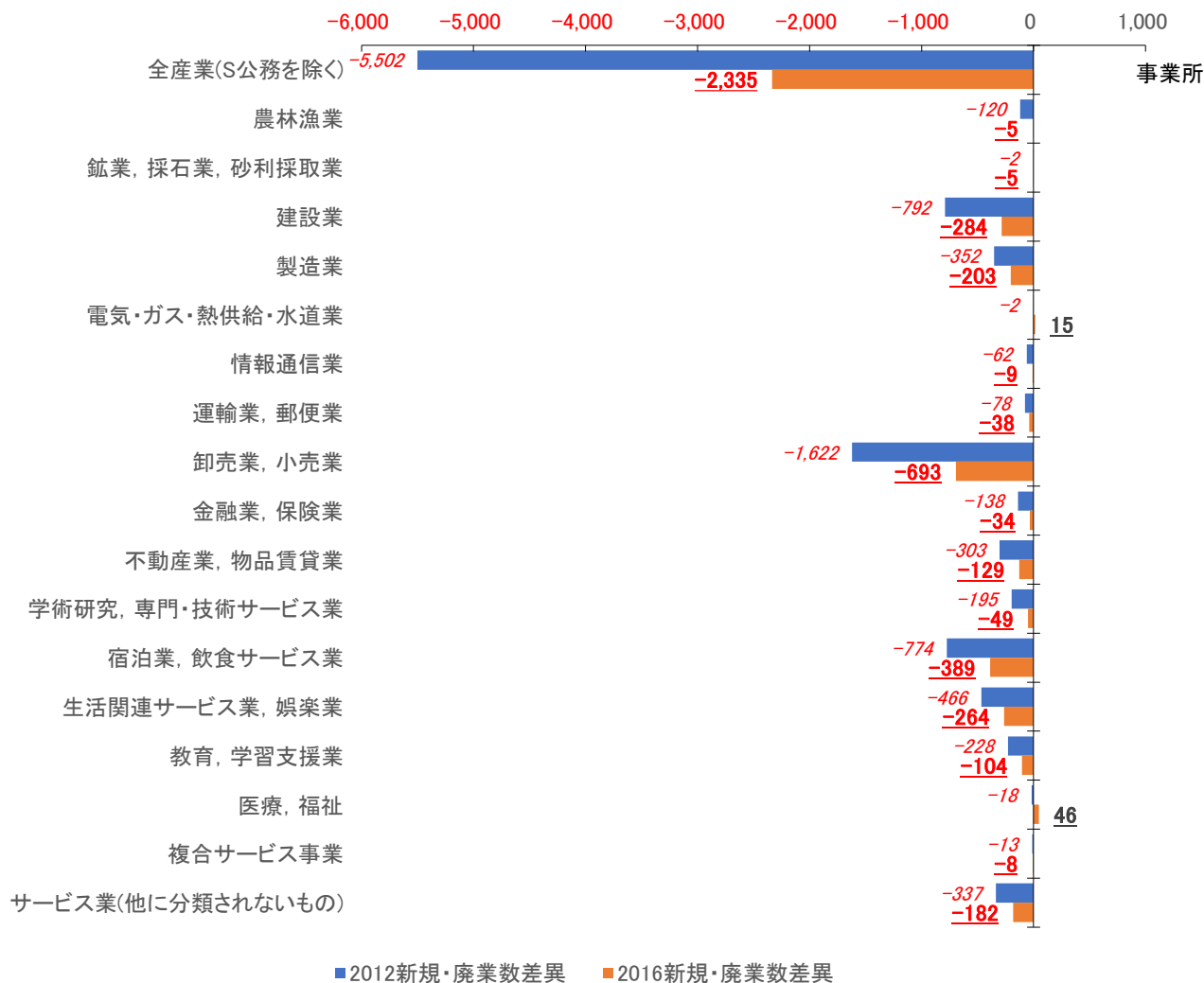
図5. 本県の2012年、16産業別廃業事業所数



資料) 総務省「経済センサス活動調査」をもとに作成

7. 2012年、16産業別新規・廃業事業所数の差異

図6. 本県の2012年、16産業別新規・廃業事業所数の差異



資料) 総務省「経済センサス活動調査」をもとに作成

8. 宮崎市における創業者・創業予定者向けアンケート調査からみた創業意識

【アンケート概要】

調査期間：2018年10月24日－11月9日

調査対象：宮崎市創業サポート施設「みやざきスタートアップ

HUB」正会員、サブ会員、OB会員 40名

宮崎商工会議所創業スクール受講生

(過去3年分) 127名

回収件数：34件

アンケート内容

：創業前・創業後の考え方の変化

創業に至るまでの経緯

創業サポートの必要性等

※以下、資料は全て当研究所作成

(1) 創業者・創業予定者の属性

図7. 回答者の年齢層

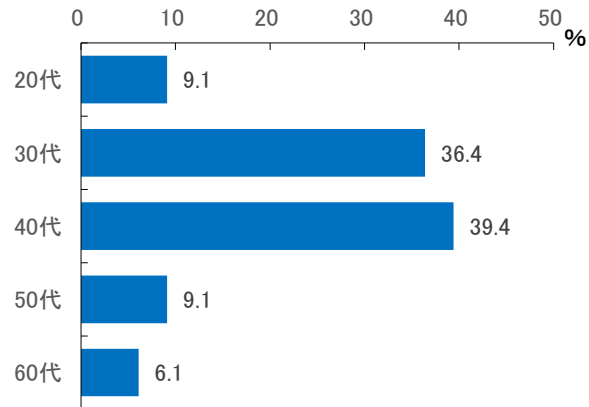


図8. 回答者の男女別構成比

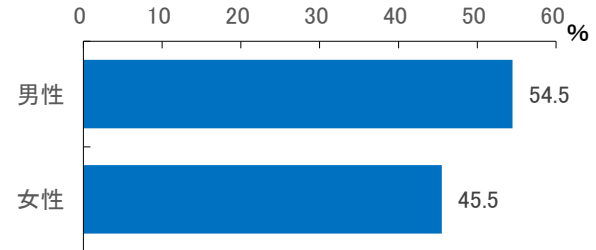


図9. 回答者の出身地

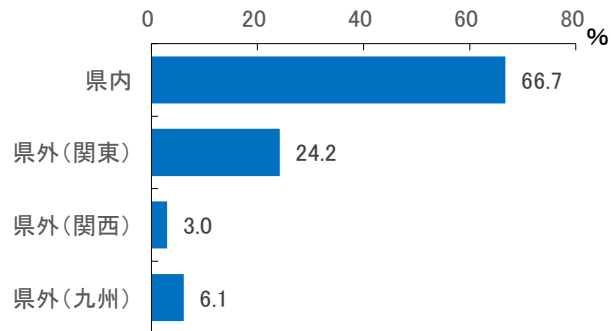


図10. 回答者のうち移住・Uターン者区分

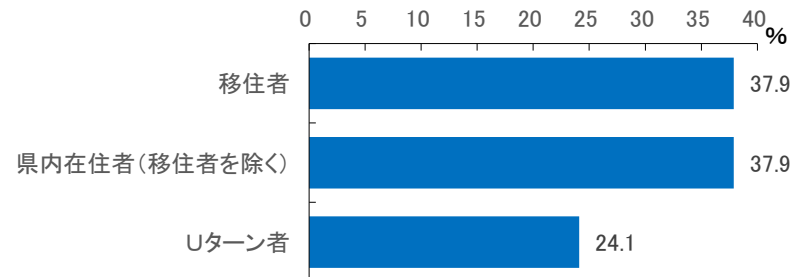


図11. 回答者の現在の状況

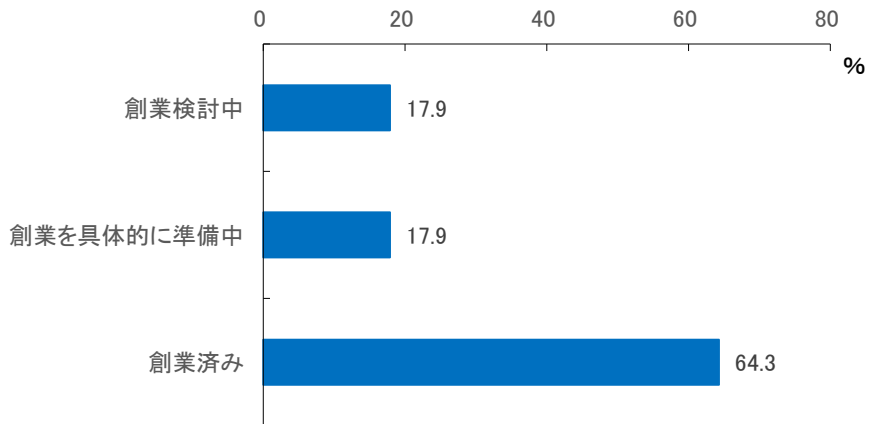


図12. 創業済み回答うち、創業からの経過年数

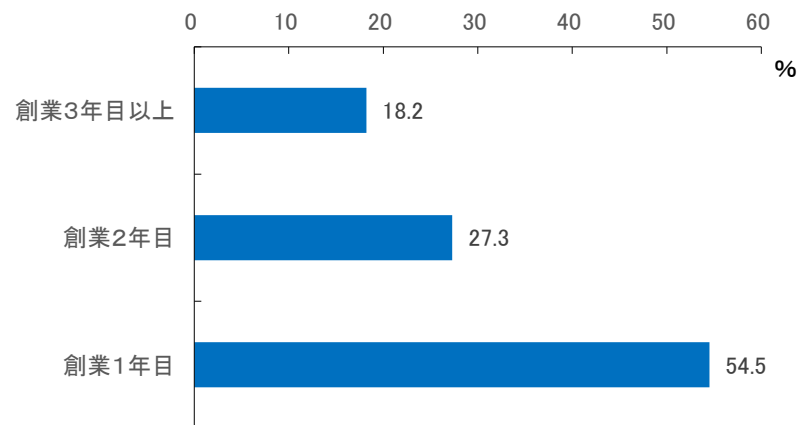


図13. 創業前の職種(創業前の回答者は現在の職種)

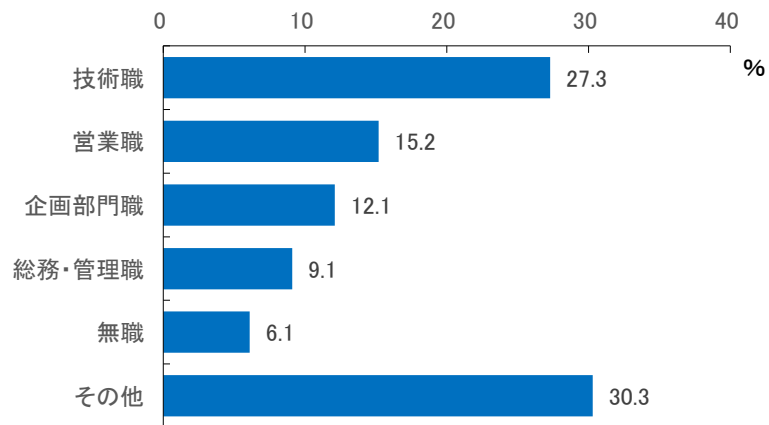


図14. 創業直前の職業

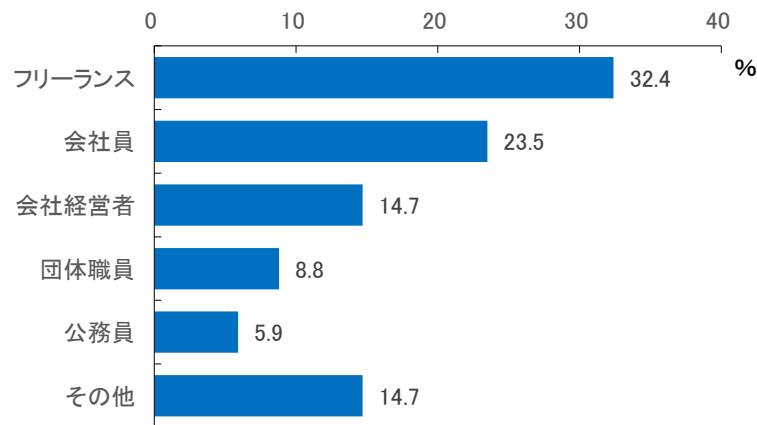


図15. 過去に事業経営をした経験の有無

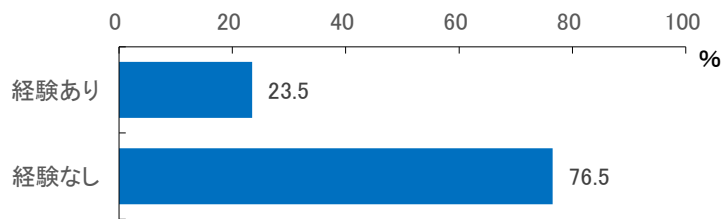
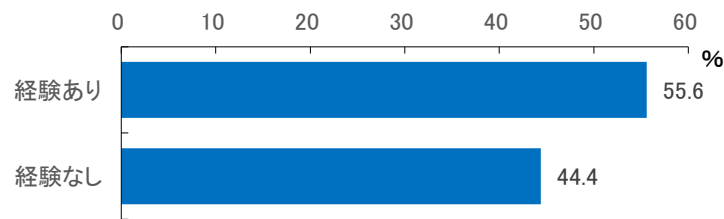


図16. 過去に新規事業・部門立ち上げの経験の有無



(2) 創業者・創業予定者の状況

～創業前に目指した業種と実際に創業した業種には異なるものも多い

図17. 創業を目指す業種(複数回答)
※創業済みの回答者は創業前に目指した業種

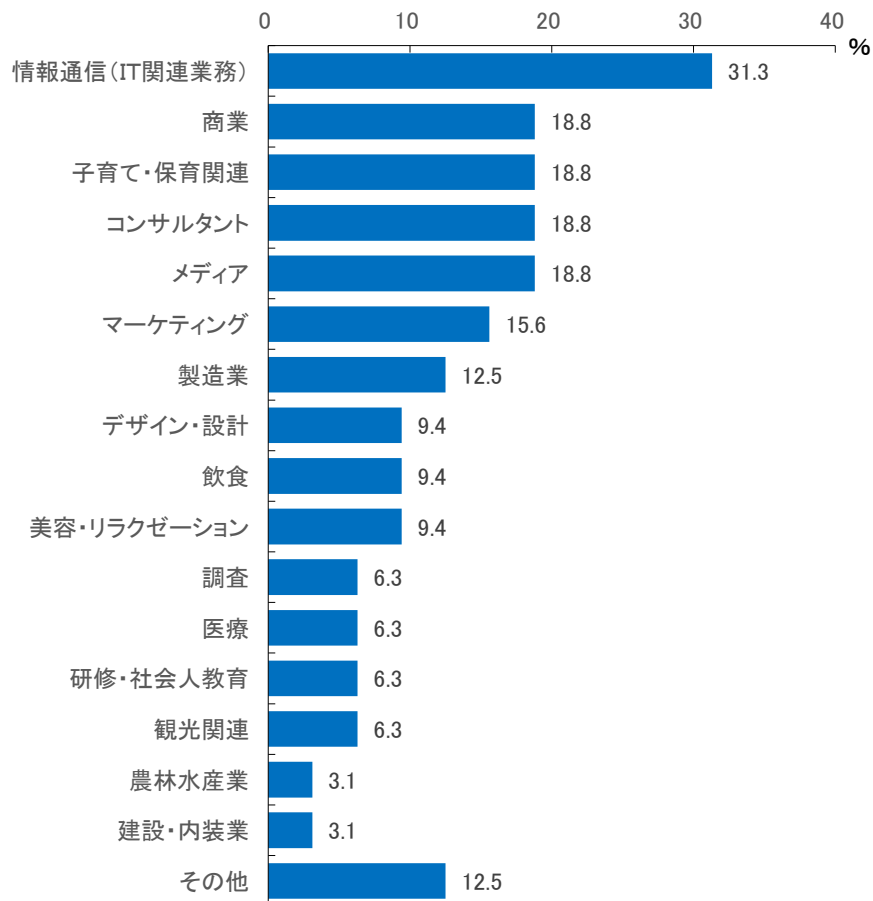
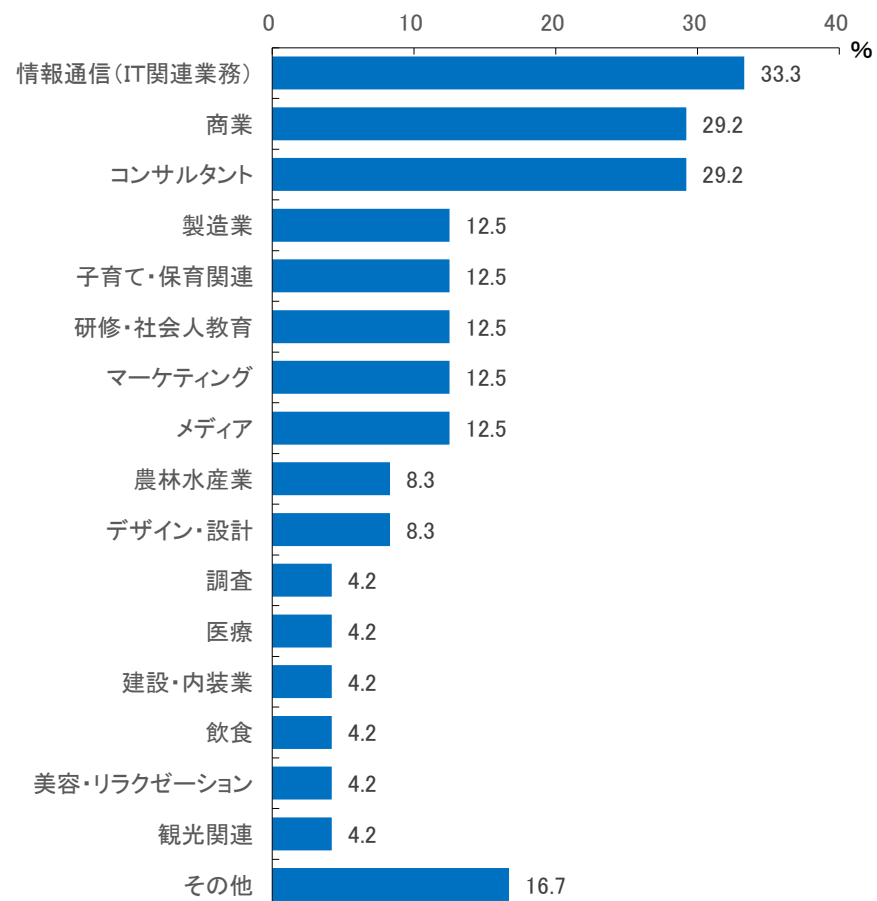


図18. 創業した業種(複数回答)
※創業済みの回答者のみ



～創業に対する考え方は様々

図19. 創業のきっかけ(複数回答)

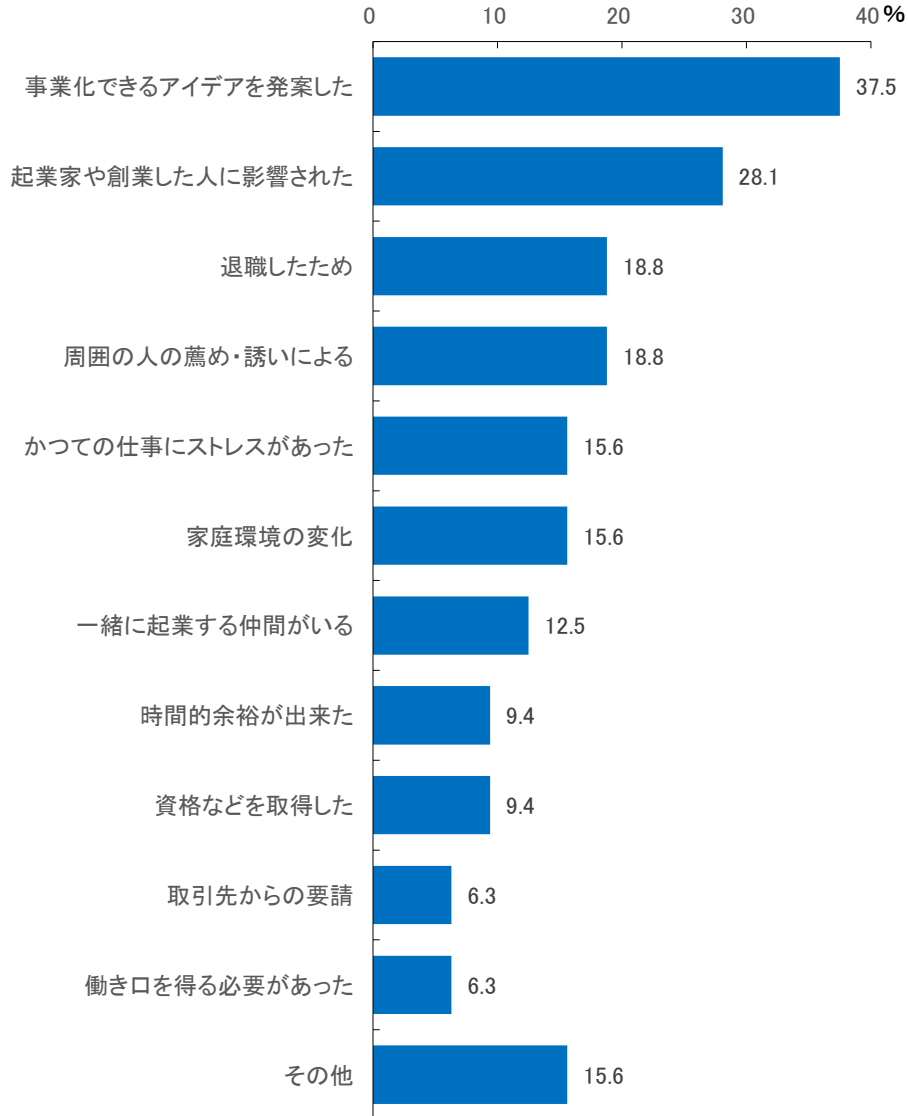


図20. 創業への期待・創業までの期待(複数回答)

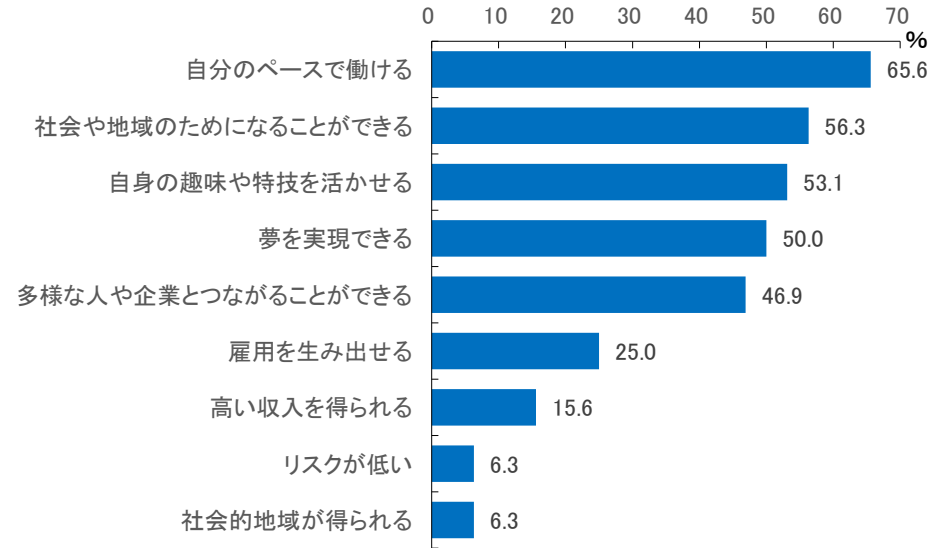
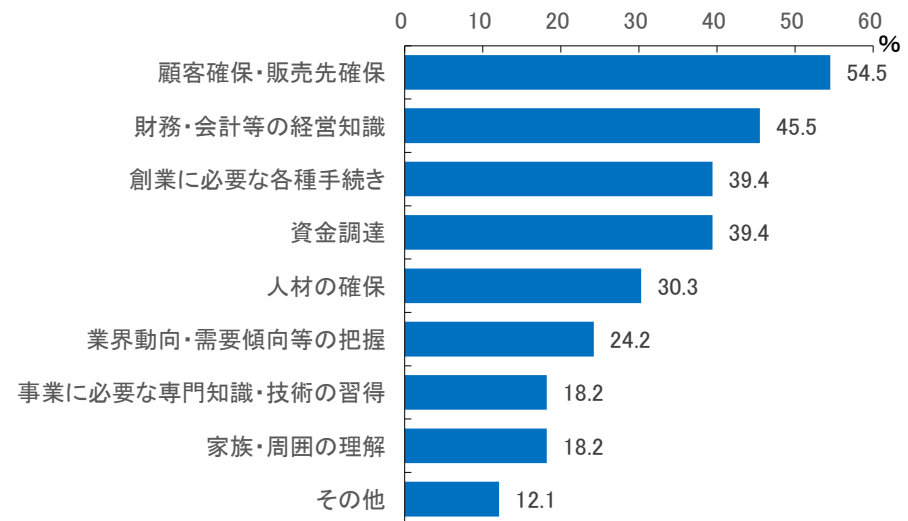


図21. 創業への不安・創業までの不安(複数回答)



～公的支援の活用と評価

図22. 事業内容・方向性を決める際に参考にした意見等(複数回答)

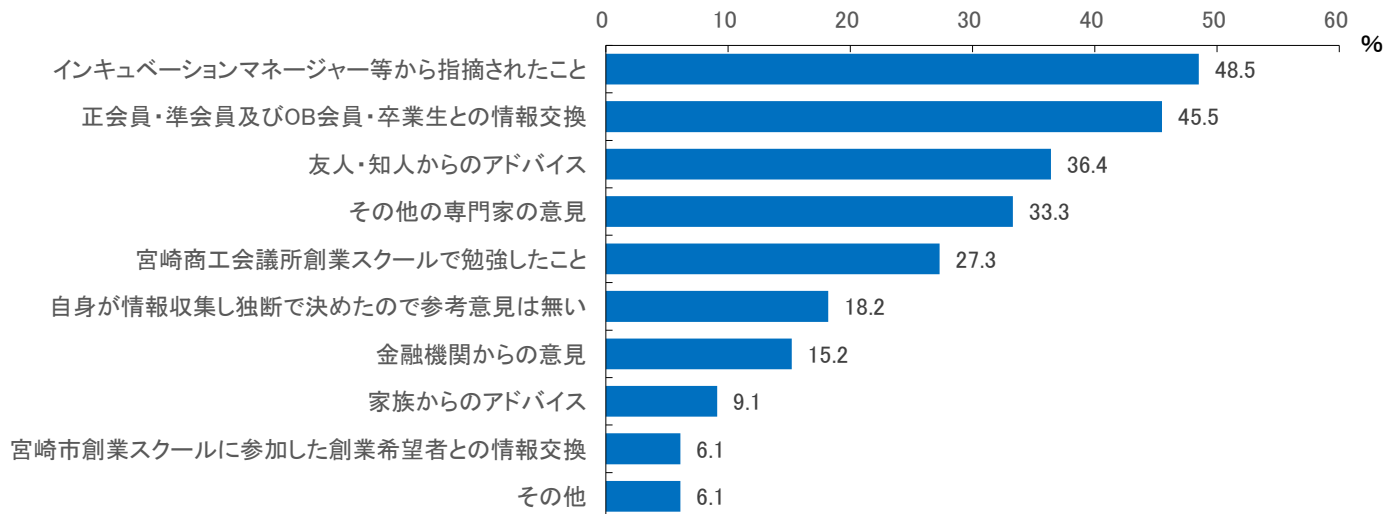


図23. これまで有効と感じた支援(複数回答)

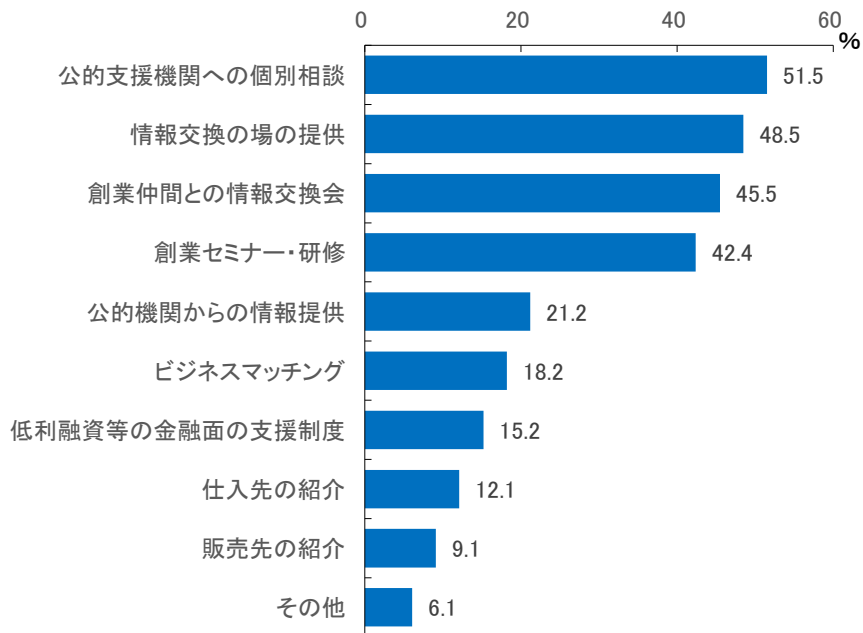


図24. 宮崎商工会議所創業スクールの満足度(複数回答)

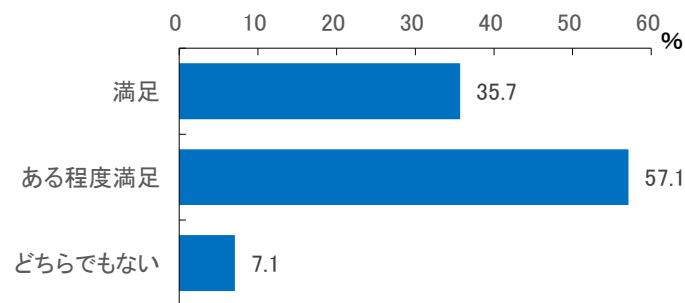
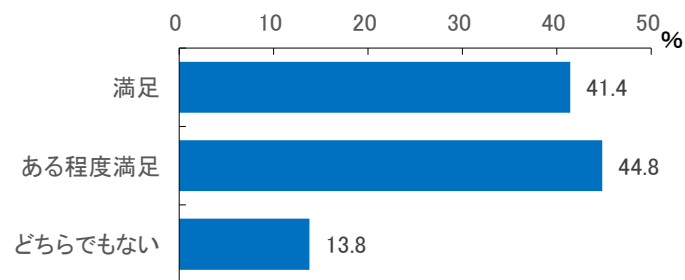


図25. みやざきSTARTUP HUBの満足度(複数回答)



～公的支援・教育のあり方 幅広い年代に対する通年教育の希望が多い

図26. 今後どのような創業支援策が必要か
(複数回答)

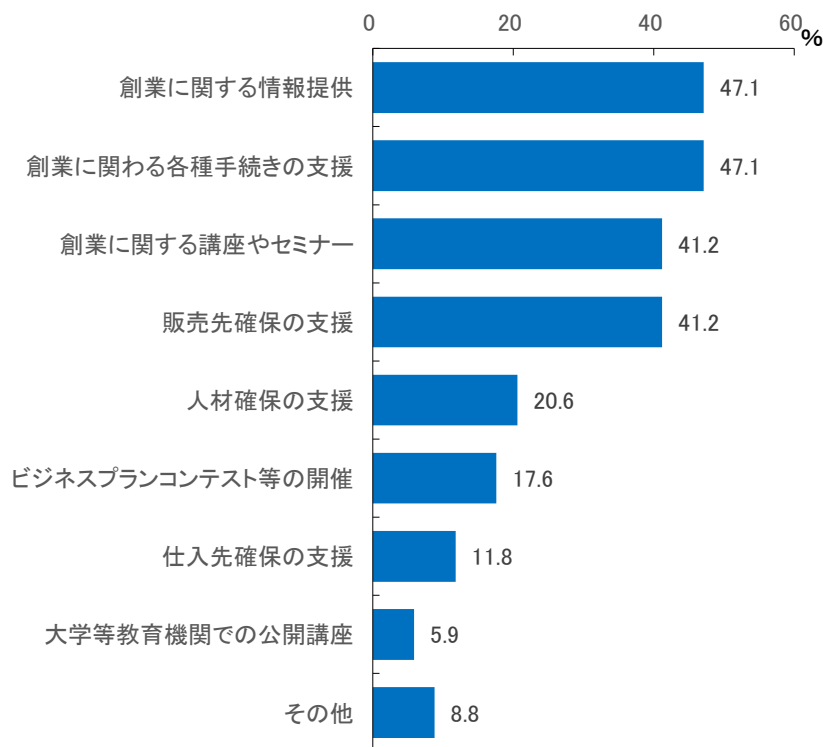
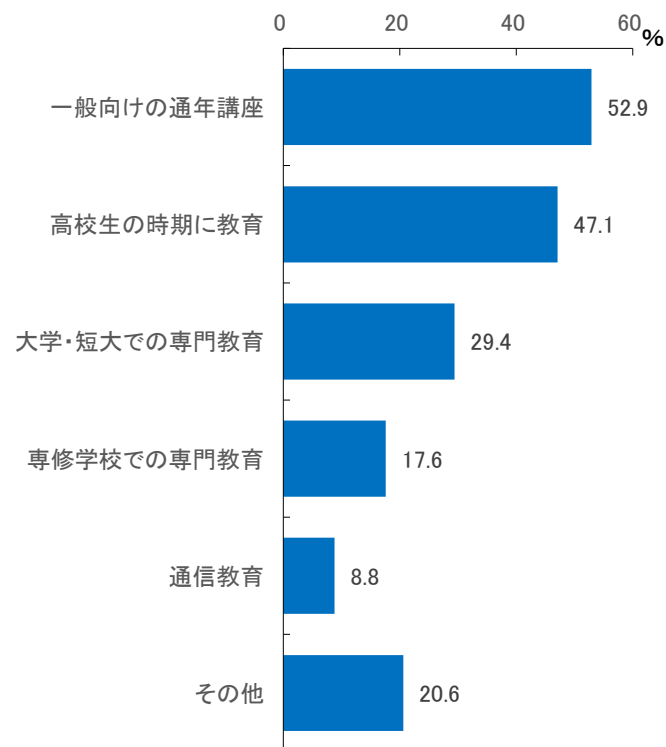


図27. 創業マインドを育てるために必要な教育の仕組み
(複数回答)



9. 本日の意見交換内容

(1) 若者流出を食い止めるためには

～若者を呼び込む、呼び戻す、踏みとどまらせるための環境を整える

①若者にとって魅力のある地域かどうか→若者の考えと地元とのギャップ

- ・地域特有の価値を見直し可視化、地域の優位性にどこまで集中投資できるか
- ・待遇面、安定性を重視する若者は、県内企業の魅力を理解しにくいのが実情

②若者が望む雇用形態・雇用条件があるか

- ・労働集約型の雇用ではなく、イノベーションを創出する産業が大事ではないか
- ・IT導入等(テクノロジー導入)による業務自動化・働き方改革等は進んでいるのか

(2) 起業・創業・イノベーションからの地域活性化

①取り組むべき課題とは

- ・金融機関、大学、行政に求められる役割とは(現状では何が足りないのか)
- ・企業内イノベーション・「企業内起業」の創出に向けて必要となるものとは

②地域活性化に繋げていくための方策とは

- ・「稼ぐ」ため、付加価値を生み出すためには
- ・利益を地元還元し、地域内で経済循環させていくためには

(3) イノベーションを創出するために必要な人材育成とは

- ・創業支援・起業家育成のための実需に沿った環境整備とは
- ・地域に対する熱い想いとチャレンジ精神の醸成のためには
- ・民のリーダーの育成・強化に必要なこと～地域に大きな流れを生み出すために